

取り上げたので非常に好感をもたれ次年度は全員参加できるようにとの希望があった。

2 小規模学校研究協議会

- (1) 期 日
6月13日、14日
- (2) 会 場
石川郡石川小、中学校 北山形小学校
- (3) 趣 旨
小規模学校の経営について、とくに学習指導の管理上の問題の研究協議を行ない、管理者としての資質を高め教育の改善と向上を図ることを目標とする。
- (4) 講 師
福島大学教育学部教授 島 貫 快 祐
県教育庁石川教育事務所長 大 谷 香
県教育庁指導課指導主事 武 田 亨
県教育庁学務課管理主事 小 林 兵 郎
- (5) 講 演
福島大学教育学部教授 島 貫 快 祐
演題「小規模学校における望ましい学校経営について」
小規模学校における学校経営について、校長としてのありかたについて具体的な指導があり、参加者一同に深い感銘をあたえた。
- (6) 分 科 会
全員一同現場の問題点をもちよって熱心に討議がなされ多大の成果を上げることができた。

3 山村教育研究会

- (1) 中通り地区研究大会
 - ① 期日 昭和42年11月1日(火)
 - ② 会場 安達郡東和町立木幡第二小学校、水舟分校
 - ③ 研究主題 「山村へき地の諸条件を積極的に生かした学習指導はどうあるべきか」。
 - ④ 講 師
県教育庁安達教育事務所長 大 越 源三郎
県教育庁学務課管理主事 武 田 亨
県教育庁学務課管理主事 渡 辺 五 郎
県教育庁安達教育事務所指導主事 桑 原 信 寿
丹 治 和 一
県教育庁信夫教育事務所指導主事 永 沢 電四郎
 - ⑤ 分 科 会
ア. 下学年分科会
研究主題「学習意欲を高めるための習慣づけ」
㊦ 発表者 郡山市立柗山神小学校教諭 水 戸 邦 子
安達郡小浜小学校教諭 金 田 和 枝
学習意欲を高めるためにたいせつなことは動機づけの方法であるが特に子どもの能力に応じた教材の与えかた、子どもひとりひとりが学習のねらいをもつことが重要である。
イ. 上学年分科会

研究主題「上学年における主体的学習の態度の育成をどのようにすればよいか」

- ㊦ 発表者 東和町立上太田小学校教諭 高 橋 豊二郎
都路村立古道小学校教諭 渡 辺 一 夫
国語科の指導を中心として、学校図書館利用による主体的学習の態度の育成が渡辺一夫教諭より発表され、山村教育においても効果があることが述べられた。
○図書館施設の新設、拡充
○読書興味の誘発
○図書の見聞かせ
○読書レース
○読書指導の時間の設置
○推せん図書
- ウ 複式分科会
研究主題「複式学習指導法の望ましいありかた」
㊦ 研究発表者 東白川郡古殿町立大久田小学校 高房分校教諭 椎 根 辰 雄
福島市立水原小学校 狼ヶ森分校教諭 安 在 政 隆
安達郡東和町立北戸沢小学校 熊谷分校教諭 菊 地 武 紀
複式学習指導に積極的に視聴覚教育の導入をはかるとともに個別指導においては、ひとりひとりの子どもの実態を診断して、授業の場でどのように個別指導を行なうか計画をもたなければならない。

(2) 会津地区研究大会

- ① 期 日 昭和42年10月17日(火)
- ② 会 場 耶麻郡高郷村立大谷小学校
- ③ 研究主題「山村へき地の諸条件を積極的に生かした学習指導の研究」
- ④ 講 師
県教育庁耶麻教育事務所長 山 田 静 夫
県教育庁指導課指導主事 武 田 亨
耶麻教育事務所指導主事 佐 藤 聡
遠 藤 良 孝
栗 城 讓
- ⑤ 分 科 会
ア. 第1分科会
研究主題「小人数学級の特長を生かした学習指導法はいかにあるべきか」
㊦ 発表者 河沼郡河東村立河東第二小学校 強清水分校教諭 五十嵐 和 代
河沼郡柳津町立柳津小学校 飯谷分校教諭 長谷川 茂一郎
学習は個人的に成立するのであるから、小人数学級の場合は単式、複式を問わず、個別指導の徹底があるというプラスの面があることを再認識してじゅうぶん活用すべきである。また、複式学級の机の配置や黒板の位置についても研究する必要がある。
イ. 第2分科会